

久山中便り

久山中学校
令和8年1月13日発行
第66号

「凡事徹底」

三学期始業式

三学期の始業式では、各学年の代表者三名と生徒会の新副会長が、決意を述べました。ここでは、一年生の代表者Mさんの話を紹介します。

「皆さんは、三学期をどのように過ごしたんですか。一年生として三学期をどう過ごしたらよいのか、私なりに考えてみました。」

二学期の終業式には、宿泊体験学習で「自律」が成長できたということや、他人任せにせず、助け合える学年にしたいという話がありました。

これを受けて、私は、時間やルールを守り、当たり前のことができる学年になりたいと思いました。理由は、学年の中には一学期でできていた当たり前のことが二学期になると学校生活にも慣れて、できていないときがあったり、時間に間に合わなくなってしまうことがあったりしたからです。

ですので、三学期は、自分のことだけでな

く、周りのことをもつと見て行動したいです。

そのために、二分前の着席の呼びかけや移動教室の時の呼びかけをして、時間を守ることから始めようと思います。」

当たり前のことをきちんとやることを「凡事徹底」とも言います。

挨拶、時間、清掃など、学校生活の基本なることを「凡事徹底」できる学年に成長できることを期待しています。



365日の紙飛行機

始業式では、「365日の紙飛行機」の曲を紹介しました。この曲は、朝のドラマ「朝が来た」の主題歌でも知られています。

朝の空を見上げて 今日という一日が笑顔でいられるように そつとお願ひした時には雨も降つて 涙も溢れるけど
思い通りにならない日は 明日 頑張ろう
ずつと見る夢は 私がもう一人いて
やりたいこと 好きなように

自由にできる夢

人生は紙飛行機 願ひ乗せて飛んで行くよ
風の中を力の限り ただ進むだけ

その距離を競つより どう飛んだか
どこを飛んだのか それが一番大切なんだ

さあ心のままに 365日

この歌詞の中のラインを引いた部分は、「結果よりも、自分の取り組む姿勢や取組の中で考えを深めることが大切だ」ということを教えてくれています。

「受験に向かって一層頑張る三年生」

「修学旅行でさらに成長した二年生」

「中学校の生活に慣れてきた一年生」

それぞれの学年で、解決しなければならぬ課題があり、時には不安になったり、悩んだりするなど、思い通りにならない日もあると思いますが、取組への情熱や一生懸命に取り組む気持ちを大切にして、乗り越えてほしいというメッセージが伝わってきます。

動力を持たず、見えない力（風）に支えられる「紙飛行機」を「人生」に例えた曲ですが、周りに感謝しながら、夢や希望に向かって進んでほしいという応援歌でもあります。

三学期は、各学年のまとめの期間。

それぞれの学年が、さらに成長できたと実感できる時間を過ごしましょう。